特集 すいよう

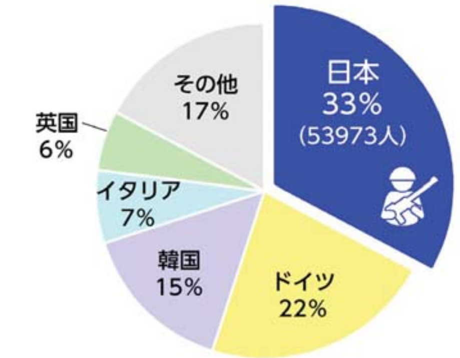
世界に類例ない異常
「米軍基地国家」日本

米軍が国土のどこでも基地をつくる権利を保有＝「全土基地方式」は米の主要同盟国で日本と韓国だけ

全国に広がる基地・訓練場

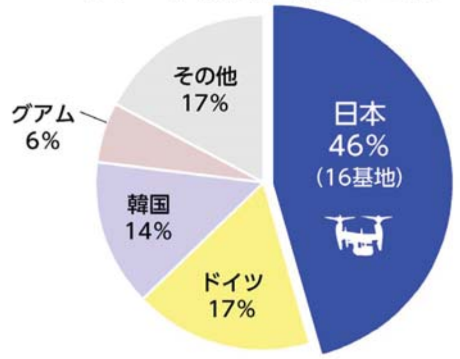
←米原子力空母ロナルド・レーガン

米軍の海外駐留兵力の国別割合



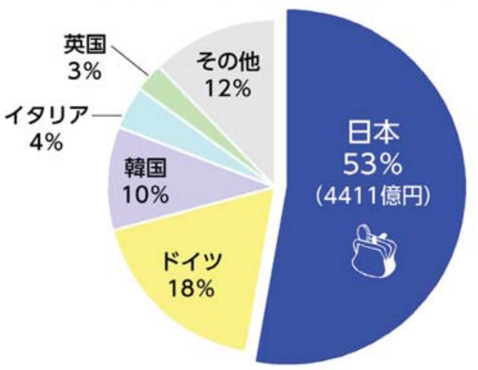
※2022年9月現在（米国防総省・人員データセンター統計から作成。グアムなど米海外領の駐留兵力は除外。同統計は現在、非公開）

米軍の「大規模」海外基地の割合



※2021年9月現在（米国防総省『基地構造報告』から。資産評価額24億1500万ドル（約3381億円＝1ドル＝140円で計算）を「大規模基地」に分類。グアムは米国の海外領だが、日本が基地建設費を負担しているため加えた）

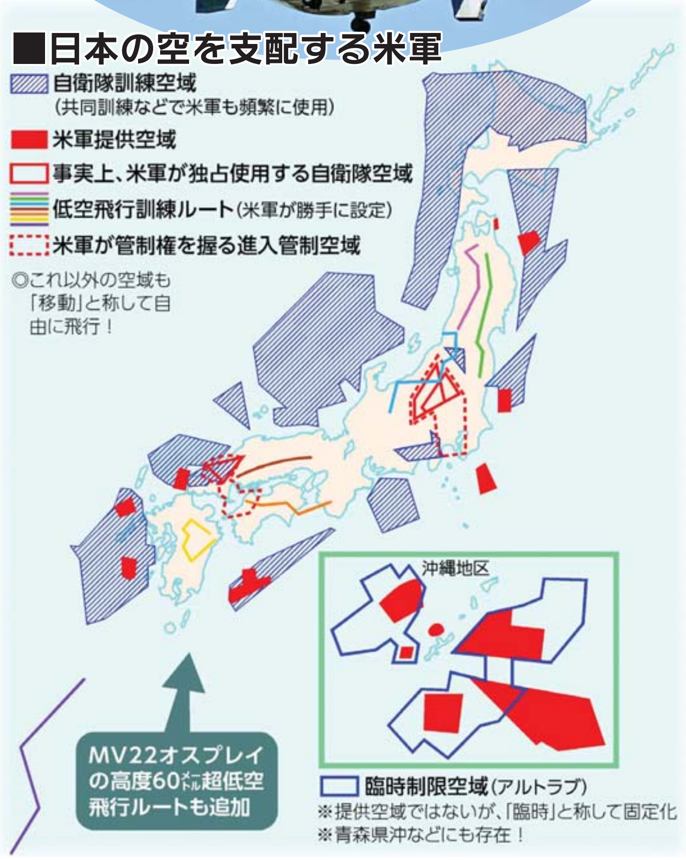
米同盟国の米軍駐留経費負担の割合



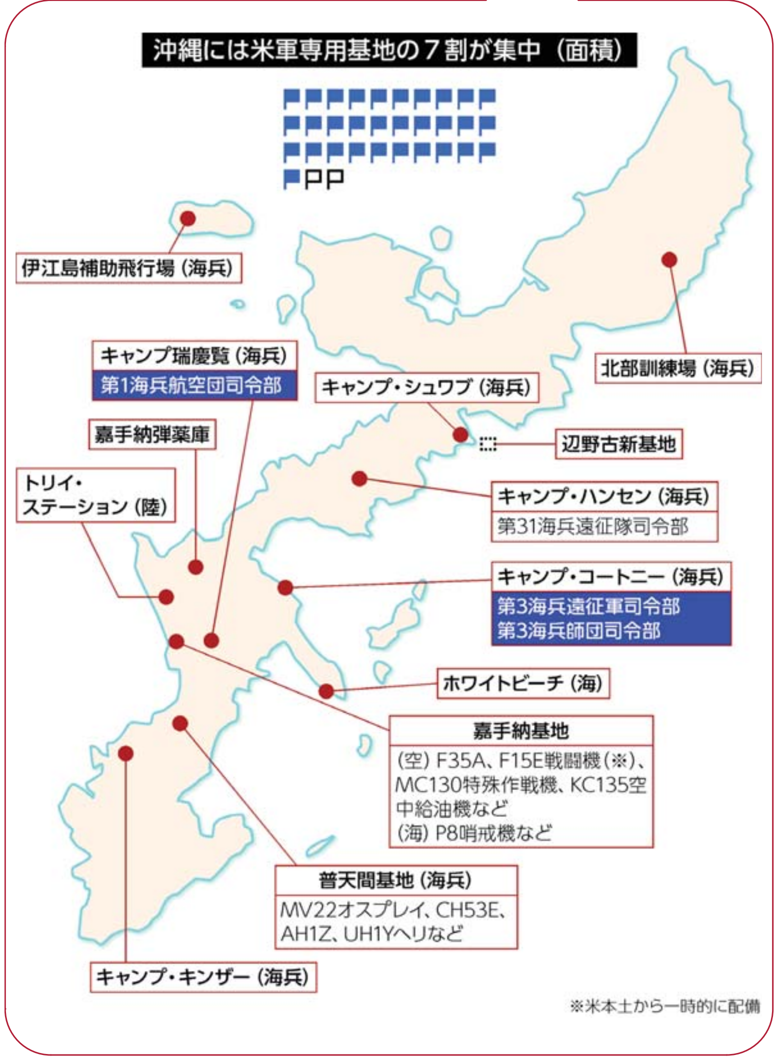
※2003年現在（米国防総省『共同防衛に対する同盟国の貢献度』報告04年版から。同報告書はその後、非公開になっているが、基本的な比率に変化はないとみられる）

←MV22オスプレイ

■日本の空を支配する米軍



沖縄には米軍専用基地の7割が集中（面積）



日本には、北海道から沖縄まで全国に130もの米軍基地が広がっています（2022年3月現在）。政府は「抑止力」だとして米軍にしがみついています。しかし、米兵の人数も基地の数も、米国の他の同盟国と比較して異常な規模です。

そもそも、米軍は日本を守るために存在しているわけではありません。1945年、日本を占領支配した米軍が、日本を自らの世界戦略の拠点にするために残したのが、これら基地網です。

米軍は日本から海外の戦争に、自由に出撃できます。ベトナムやイラク・アフガニスタンへの出撃をくり返し、いまは日本を足場に、中国との軍事衝突に備えています。

米軍は日本の国土に加え、空や海を支配し、自由勝手に訓練を繰り返しています。これにより騒音や事故の危険、環境汚染が広がっています。他の米同盟国に存在するような国内法による規制が、日本には存在しません。

米軍基地内には、広大なゴルフ場や1億円を超えるような豪華な家族住宅が存在します。これらの大半は、世界に例のない異常な「米軍思いやり予算」によるものです。戦後80年近くたって、これだけの米軍基地が存在し続けているのは、こうした「思いやり予算」のうまみがあるからに他なりません。

（竹下岳）

レイアウト　大幡るい